

「主成分分析」による最高性能 AI エッジ 開発入門受講報告

共通機器部門 情報基盤機器管理班 氏名 落 祥弘

1. はじめに（目的等）

依頼業務を行う中で、エッジ端末を用いた研究装置の依頼がある。管理・運営能力の向上のため、下記を受講した。

[\[VOD\] 故障推定から画像認識まで！「主成分分析」による最高性能 AI エッジ 開発入門](#)

2. 期間・場所

期間：2025年2月11日

場所：オンライン

3. 参加者等

オンライン(VOD)のため一人

4. 研修内容

履修のため、専門書を用いた自己研鑽 40時間程度

5. まとめと感想

業務でソフトウェアすべてを設計することはなく、フロントエンドの追加インターフェイスのみが多いが、ハードを含めた構築が多いため、ある程度の知識がないと、設計に反映することが難しい。今回、実例を交えたセミナーを受講することで、統計分析に関する知識を履修することができた。